

# 飯富病院経営強化プラン 点検・評価報告書

令和7年9月

身延町早川町国民健康保険病院一部事務組合

## 第1章 はじめに

飯富病院が医療需要・環境が変化していくなかで、継続して安定した医療を提供していくためには、健全な事業運営が不可欠であることから、令和4年4月に総務省から示された「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に沿って、「飯富病院経営強化プラン」を策定いたしました。本報告書は、「飯富病院経営強化プラン」に基づき、令和6年度 of 取組状況を点検・評価し、今後の改善方針を明らかにすることを目的としています。なお、評価にあたっては、次の方法により行いました。

### 数値目標に対する評価

評価区分	評価の内容
S（大幅に達成）	達成率120%以上（目標を相当程度上回り達成した）
A（達成）	達成率100%以上120%未満（目標を達成した）
B（概ね達成）	達成率80%以上100%未満 （目標を概ね達成したが、より一層の取組が必要）
C（未達成）	達成率80%未満（目標を達成していない）

### 取り組みに対する評価

評価区分	評価の内容
S（大きな成果）	取り組み項目で予定した内容に取り組み、具体的な成果が表れている。
A（一定の成果）	取り組み項目で予定した内容に取り組み、一定の成果が表れている。
B（成果なし）	取り組み項目で予定した内容に取り組んだが、成果は出ておらず、より一層の取り組みが必要になる。
C（改善が必要）	取り組み項目で予定した内容に取り組まず、課題が残っているため、改善が必要になる。

## 第2章 点検・評価

### 1. 役割・機能の最適化と連携の強化

#### (1) 地域医療構想を踏まえた役割・機能

計画	取り組み内容	評価
当院単独ではなく、峡南南部地域として医療提供体制の見直しを協議する。人材を含めた地域の医療資源を地域全体で最大限効率的に活用し「自己（病院）完結型医療」から「地域完結型医療」への転換を目指し、他病院や診療所と協議しながら役割を検討する。	峡南南部地域の課題を解決し、適切な運営主体の決定に向けて、身延・早川・南部町と飯富病院、身延山病院、南部診療所が地域医療連携推進法人みなみやまなしを設立し、機能分化・連携強化を推進している。	S

#### (2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての役割

計画	取り組み内容	評価
近隣の病院・診療所・介護施設と連携し、緊急時の受入れ体制の整備や、在宅復帰するまでの医療・リハビリテーションなどが必要な患者の受入れを強化する。	ソーシャルワーカーが他医療機関と連携し、入院・転院の調整を行っている。また訪問看護やケアマネを通じ、在宅患者の受入れも必要に応じて対応している。	A
訪問診療・訪問看護など在宅医療を充実させ、併設の老健施設や在宅サービスと一体的に展開する。	ソーシャルワーカーを中心に併設の居宅や地域のケアマネと連携し、患者の状態に応じた受入れ・在宅支援体制を整えている。	A
峡南在宅医療支援センターを通じて、地域の医療機関や行政、介護事業者と連携を推進する。	峡南在宅医療支援センターが定期的で開催している「顔の見える関係づくりの会」において、峡南地域の医療・介護の現状と課題を多職種で検討し情報共有し連携を図っている。	A

(3) 機能分化・連携強化

計画	取り組み内容	評価
地域にとって必要な外来診療を維持し、高度医療は三次救急病院に依頼し、退院後の受入れを当院で担う体制を強化する。	三次救急病院に依頼した患者の退院後の受入れは、両医療機関の連携室で連絡を取り合い、必要に応じて受入れを行っている。	A

(4) 医療機能や医療の質、連携強化等に係る数値目標

項目	令和6年度	令和6年度	評価
	目標値	実績値	
(1) 医療機能に係る目標			
救急搬送患者数 (人)	200	292	S
健康診断人数 (人)	170	161	B
手術件数 (件)	20	2	C
訪問診療件数 (件)	190	109	C
訪問看護件数 (件)	750	582	C
訪問リハ件数 (件)	60	19	C
(2) 医療の質に係る目標			
一般病棟在宅復帰率 (%)	76.0	78.3	A
地域包括ケア病棟在宅復帰率 (%)	88.0	91.2	A
(3) 連携の強化等に係る目標			
紹介数 (件)	380	435	A
逆紹介数 (件)	80	51	C
(4) その他の目標			
研修医の受入数 (人)	5	0	C
健康教室数 (件)	24	36	S

(5) 一般会計負担のあり方

計画	取り組み内容	評価
国の示す基準を下回る状況であることから、この地域の医療体制を確保し、地域住民の健康を維持できるよう繰入れの増額を関係部署と協議する。	構成町である身延町および早川町と協議のうえ、国の示す繰出基準満額に加え、病院運営費補填、診療所運営委託費、児童手当精算金の合計485,843,050円を負担していただいた。	S

(6) 住民の理解への取組

計画	取り組み内容	評価
構成町の広報誌において現在おこなわれている状況の説明や、これから必要となる医療提供体制をどのようにして維持していくのかを丁寧に説明する。	当院の経営状況および今後の医療提供体制については、構成町の広報誌や議員の活動報告、またテレビや新聞において報道・記載されている。	A
意見箱やホームページから住民の声を集め、環境改善や患者満足度向上に反映させる。	住民および患者からの声に対しては、改善すべき事項について迅速に取り組んでいる。	A

2. 医師・看護師等の確保と働き方改革

(1) 医師・看護師等の確保

計画	取り組み内容	評価
診療科維持のため、山梨大学医学部附属病院をはじめ近隣の病院と連携協力を得る。	山梨大学医学部附属病院より医師の派遣を受け、診療科の維持に努めている。産業医についても、身延山病院より派遣を受けている。	A
看護師は高齢化が進んでおり、募集や修学資金貸付制度で確保に努める。	看護師2名を採用した。なお、ホームページおよびハローワークで求人を行っているが、応募は確認されていない。	B

(2) 臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保

計画	取り組み内容	評価
大学病院等から研修医及び医学生の研修を受け入れ、地域医療を体験してもらい定着を促すとともに、実習を通じて地域医療のやりがいを伝え、地域に根ざす医師を育成する。	令和6年度は研修医の受入れはなかった。当院の都合によるものではなく、希望者がいなかったためである。一方、医学生の実習生は7名受入れた。	B

(3) 医師の働き方改革への対応

計画	取り組み内容	評価
医師の時間外労働を年間960時間以内に抑える「A水準」が目標。	時間外労働が年間960時間超えた職員はいなかった。	S
宿直許可を取得し、医師事務作業補助者を配置して負担軽減を図る。	令和6年2月に宿日直許可を取得済。令和7年1月から医師事務作業補助者を配置し施設基準の申請も行った。	S

3. 経営形態の見直しについて

<p>           峡南南部地域医療連携推進協議会で協議中。将来的には身延・早川・南部町で構成する一部事務組合を新たに立ち上げ、指定管理者制度を活用し公設民営化を念頭に検討する。         </p>	<p>           峡南南部地域の医療機関を2病院2診療所から1病院3診療所（飯富病院は診療所化）とし、公設民営化を目標に協議を進めていくことになった。         </p>	S
--	---	---

#### 4. 新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取り組み

計画	取り組み内容	評価
発熱外来を継続し、コロナ患者の透析にも対応する。	引き続き発熱外来は継続し、透析患者も含め、コロナ患者の入院に対しても受入れを行っている。	S
感染管理認定看護師の育成、ICTの活動により院内感染防止を強化する。	看護師1名が感染管理認定看護師資格を取得し、さらに資格取得者が1名入職した。週1回のICT委員会を開催し、現状の把握・対策について話し合いが行われ情報共有している。全職員を対象とした年2回の感染対策勉強会も実施している。	S
感染拡大時に備え、マスク・フェイスシールド・ガウン等の必要量を想定しながら、個人防護具の備蓄に努める。	在庫状況を把握し、必要量は確保している。	S

#### 5. 施設・設備の最適化

##### (1) 施設・設備の適正管理と整備費の抑制

計画	取り組み内容	評価
患者・職員が安心・安全に働き、受診できるように、設備の改修を効率的にかつ計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、限りある投資と均衡を図っていく。	今後修繕が必要となってくる箇所を把握し、優先順位をつけ、計画的に行えるよう確認をした。	B

##### (2) デジタル化への対応について

計画	取り組み内容	評価
各部門システムそれぞれに行っているセキュリティー対策を、一つのネットワークとしてUTMを設置し、統一した管理をしていく。	現在検討中。具体的な案はできていない。	C

## 6. 経営の効率化等

### (1) 経営指標に係る数値目標

項目	令和6年度	令和6年度	評価
	目標値	実績値	
(1) 収支改善に係るもの			
経常収支比率 (%)	87.9	91.5	A
修正医業収支比率 (%)	68.7	65.4	B
不良債権比率 (%)	0	0	A
資金不足比率 (%)	0	0	A
(2) 収入確保に係るもの			
1日当たり外来患者数 (人)	130	112	B
1日当たり入院患者数 (人)	30	32	A
1日当たり外来患者診療収入 (円)	12,500	12,948	A
1日当たり入院患者診療収入 (円)	33,000	34,708	A
病床利用率 (%)	34.5	48.1	S
平均在院日数 (日)	22.0	26.0	B
(3) 経費削減に係るもの			
給与費対修正医業比率 (%)	75.6	80.2	B
材料費対修正医業比率 (%)	22.2	23.3	B
委託費対修正医業比率 (%)	9.0	9.3	B
後発医薬品採用率 (%)	85.0	87.9	A
(4) 経営の安定性に係るもの			
医師数 (人) ※非常勤医師常勤換算後	7	7.4	A
看護師数 (人) ※非常勤医師常勤換算後	33	31.8	B
その他医療従事者数 (人)	47	51	A

7. 経営強化プラン期間中の収支

(1) 収益的収支

(単位：千円)

項目	令和6年度	令和6年度	評価
	目標値	実績値	
病院事業収益	1,507,030	1,600,343	A
医業収益	840,320	899,805	A
入院収益	343,200	395,528	A
外来収益	476,120	431,094	B
その他医業収益	21,000	73,183	S
うち他会計負担金		41,902	S
医業外収益	666,710	700,538	A
他会計負担金	261,974	394,427	S
国・県補助金	20,000	19,790	B
長期前受金戻入益	54,736	54,425	B
その他医業外収益	330,000	231,896	C
病院事業費用	1,715,386	1,749,038	B
医業費用	1,254,606	1,311,763	B
給与費	635,000	688,416	B
材料費	186,610	199,495	B
経費	273,000	249,439	A
減価償却費	144,646	171,053	B
その他医業費用	15,350	3,360	S
医業外費用	460,780	437,275	A
支払利息	4,780	4,780	A
その他医業外費用	456,000	432,495	A

## (2) 資本的収支

(単位:千円)

項目	令和6年度	令和6年度	評価
	目標値	実績値	
資本的収入 (A)	15,439	50,588	S
企業債			
他会計負担金	15,439	49,514	S
国・県補助金		1,074	S
その他			
資本的支出 (B)	73,236	82,319	B
建設改良費	20,000	29,083	C
企業債償還金	53,236	53,236	A
差引不足額 (B) - (A)	57,797	31,731	S
企業債残高	302,378	302,378	A

## (3) 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

項目	令和6年度	令和6年度	評価
	目標値	実績値	
収益的収支	261,974	436,329	S
資本的収支	15,439	49,514	S
合計	277,413	485,843	S

※今回の点検・評価では、数値目標や各取り組みに対して「S」「A」評価が多く見られるが、これらはあくまで設定した目標に対する達成状況を示すものであり、実際の経営状況を必ずしも反映するものではない。令和6年度においては、過去最大規模の繰入金をいただいております、病院運営は非常に厳しい状況にある。